

フリー走行

3月9日(土) 天候:晴れ 路面:ドライ

今季は例年よりも1ヶ月早い開幕ということもあり、長いようで短かったオフシーズンを終え、全日本スーパーフォーミュラ選手権はいよいよ2024年シーズンの開幕を迎えた。今シーズンも docomo business ROOKIE は、チームの大黒柱である大嶋和也をドライバーに据え、世界屈指のフォーミュラカーレースの頂点を目指していく。

2023年は目標である予選 Q2 進出やポイント獲得などを見事に達成し、一段ステップを踏むことに成功したが、チームは今シーズン、エンジニアリングをさらに強化。大嶋をさらなる高みへ導くべく、2月に鈴鹿で行われた合同テストに臨んだ。その効果は着実に現れており、チームは大きな期待をもって3月9日(土)午前10時10分からのフリー走行に出走した。

この日の鈴鹿は晴天に恵まれたもの

の、気温9度/路面温度 16 度と冷え 込みが厳しく、風があるコンディショ ン。サインガードの石浦宏明監督も防 寒対策をしながら走りを見守った。

大嶋はコースオーブン後、しばらく ピットで待機。気温が上がりラバーが 乗り始めてからコースインすると、2 ~4周ほどの走行を繰り返していっ た。大嶋は今季に向けて、リヤの安定 性を増す方向でセットアップを練って きていたが、その狙いがしっかりと反 映されつつあった。

強風のなかではあったが、大嶋は安定してフリー走行をこなすと、終盤午後の公式予選に向けたアタックシミュレーションを行っていく。ここでも感触は悪くなくアタックを行ったが、大嶋の目前で#7 小林可夢偉がコースアウトしてしまった影響で、タイムロスを喫してしまった。

結果的にこのフリー走行では 1 分38 秒 083 というベストタイムで 19番手となったものの、タイムロスがなければトップ 10 圏内も見えるものだった。「ひさびさにクルマに不満が

ない状態になっています。上位のタイムが見えない状況ではないので、気持ちは楽ですね」と大嶋は昨年までとは違うポテンシャルに前向きな表情をみせた。



公式予選

3月9日(土) 天候:晴れ 路面:ドライ



午前のフリー走行の後も強い風が吹き続けた鈴鹿サーキットは、その後雨が降り出したりと、不安定な天候となっていた。ただ、午後3時05分から行われた公式予選に向けてふたたび天候は回復。強風は変わらないものの、ドライコンディションに戻った。

今回、大嶋は公式予選 Q1 は B組から出走した。ニュータイヤを装着してコースインすると、しっかりとタイヤを温め4周目にアタックを敢行。ここで1分36秒697というタイムを記録した。大嶋の名がタイミングモニターの6番手にポンと上がった。このままの順位なら Q2 進出だ。

しかしその直後、ライバルたちがタイムアップ。結果的に大嶋の順位は8番手となってしまった。6番手までは0.2秒もないタイム差だっただけに、悔しい予選となってしまった。

「自信をもって攻められるクルマにはなっていましたし、いけたかな? と思ったんですけどね。1コーナーでほんのわずかにグリップを余らせてしまったので、ちょっともったいなかったです」と大嶋。とはいえ、やはり感触は悪くない。悔しいコメントが出てくるのは、一昨年までにはなかったものだ。チームにとっても、前向きな予選日となった。

決勝レース

3月10日 (日) 天候:晴れ 路面:ドライ

迎えた3月10日(日)の鈴鹿サーキットは、前日に続き晴天に恵まれた。 ただ昨日の予選後、鈴鹿には雪が舞うなどやはり冷え込みは厳しい状況だ。

この日は午前9時10分から30分間のフリー走行が行われ、大嶋は決勝レースに向けて燃料を積んだ状態でのセットアップを確認していったが、前日まで得られていた手ごたえがない。オーバーステアがひどく、大嶋の表情は前日とは一変してしまっていた。

大嶋の不満を解消するべく、エンジニアたちは改良を施し、レース直前のウォームアップ走行をフルに使ってクルマのフィーリングを確認。ここで感触が好転していることを確かめ、気





温 12 度/路面温度 22 度というコンディションのなか、午後 2時 45 分からの決勝レースに臨んだ。

ただ、ウォームアップ走行で当初行うはずだったスタート練習を行わず、セットアップの確認に費やしてしまったこともあり、大嶋はスタートでわずかに遅れ、3ポジションダウンの18番手でオープニングラップを終えた。

そんななか、大嶋の前方ではアクシ デントが起きる。2周目、11番手を 争っていた#4 小高一斗と#20 国本 雄資がS字でクラッシュ。2台がグラ ベルに止まってしまったこともあり、 レースはセーフティカーランとなっ た。2台のストップで大嶋は16番手 にポジションアップ。ポイント圏内を 目指して戦っていった。

6周目のリスタート後、大嶋は前を走る#39 大湯都史樹を追撃しつつ、後方から迫る#19 テオ・プルシェールを抑える戦いを展開していく。11 周目、大嶋はペースが上がらない#39 大湯を1コーナーでアウトからオーバーテイク。ひとつ順位を上げ、14番手に浮上した。

大嶋は今回、ピットインのタイミングを遅らせる戦略を採り、燃料が減っていくとともにペースを上げていき、21 周を終えてピットに戻っていった。チームも大嶋の力走に応えるかのよう



に、抜群のピット作業でタイヤ交換を 行ってみせた。

レース終盤、大嶋はニュータイヤ のグリップを活かし、14番手を走る #12 三宅淳詞に接近すると、NISSIN ブレーキヘアピンでこれをオーバーテ イク。さらに 13番手を走る #7 小林 可夢偉に近づいていった。

大嶋は一度は #7 小林に退けられる ものの、28 周目、スプーンカーブの 進入でこれをとらえ 13 番手にポジ ションを上げる。ポイント圏内までは あと3つだ。ただ、大嶋の追撃もここ まで。大嶋は 13 位で開幕戦を終えた。

もし 0.2 秒差を埋めて予選 Q2 に 進出していれば、またスタートでポジ ションを落としていなければ、入賞圏 内は十分見えただけに、大嶋は悔しい 表情を浮かべた。

とはいえ、昨年よりもベースが大幅 に上がっているのは間違いない。次戦、 大嶋が得意とするオートポリスでの上 位進出を目指し、チームは課題解決に 取り組んでいく。





ドライバー/監督コメント





大嶋 和也 DRIVER Kazuya OSHIMA

「決勝日朝のフリー走行ではオーバーステアがひどかったのですが、セットアップを変えてもらっ てしっかりと走れる状態にはなっていました。決勝ペースも良かったのですが、いかんせんあの 位置からのレースになってしまったので、ペースが悪いクルマを抜くのに時間をとられてしまい、 良いレースにすることができませんでした。その点はすごく悔しいですね。オーバーテイクも何 度かすることができましたが、あの位置だったので……。なかなかテンションが上がるレースに できなかったです。次戦のオートポリスはいちばん自信があるコースなのでしっかり戦いたいで すし、今年のベースのセットアップなら戦えそうな気がしているので、今回の反省をしっかり活 かして上位を狙いたいと思います」



石浦 宏明 **DIRECTOR** Hiroaki ISHIURA

「公式予選まではオンボード映像を観ていてもグリップ感がある印象がありましたが、決勝日朝 のフリー走行では、オーバーステアが厳しそうで、大嶋選手自身が危なくて走れないと言うほど の状況でした。その後エンジニアたちが原因を探ってくれて、ガラリとセットを変えたのですが、 ウォームアップ走行でそれを確認することに集中していたこともあり、スタートがうまく決まり ませんでしたね。とはいえ、今週は公式予選 Q1 が通らなかったこと、スタートが決まらなかっ たことがどちらもうまくいっていれば、ポイント圏内は十分狙えるペースはあったと思っていま す。今回うまくいったところ、失敗したところがいろいろあったと思うので、次のレースまでにしっ かり見直して、レースウイークがスムーズにいくよう、みんなで準備していきたいと思います」











全日本スーパーフォーミュラ選手権 第1戦 リザルト

3月9日 フリー走行

3月9日 公式予選

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Time	Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Time
1	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'36.415	1	38	阪□晴南	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	1'35.789
2	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'36.598	2	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA	1'35.880
3	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'36.708	3	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'35.926
4	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'36.709	4	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'36.034
5	19	T. プルシェール	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'36.902	5	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'36.057
6	55	松下信治	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'36.921	6	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'36.124
7	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA	1'36.969	7	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA	1'36.156
8	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'37.074	8	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA	1'36.295
9	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA	1'37.131	9	55	松下信治	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'36.351
10	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'37.163	10	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'36.387
11	38	阪□晴南	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	1'37.232	11	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'36.446
12	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'37.296	12	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA	1'36.851
13	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'37.482	13	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'36.697
14	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA	1'37.540	14	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA	1'36.840
15	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA	1'37.615	15	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA	1'36.729
16	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO · INGING SF23	TOYOTA	1'37.904	16	19	T. プルシェール	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'36.868
17	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'38.029	17	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'37.292
18	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA	1'38.060	18	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	1'36.938
19	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA	1'38.083	19	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'40.699
20	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA	1'38.174	20	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'37.331
21	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'40.750	21	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA	1'38.467

3月10日 フリー走行

3月10日 決勝

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Time	Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Gap
1	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'39.172	1	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	31	31Laps
2	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'39.280	2	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	31	1.855
3	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'39.289	3	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	31	3.091
4	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA	1'39.294	4	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA	31	3.845
5	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA	1'39.385	5	65	佐藤蓮	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	31	13.705
6	16	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'39.410	6	8	福住仁嶺	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA	31	15.716
7	64	山本尚貴	PONOS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA	1'39.464	7	38	阪□晴南	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	31	16.833
8	55	松下信治	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'39.557	8	55	松下信治	TGM Grand Prix SF23	HONDA	31	17.836
9	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA	1'39.591	9	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	31	18.425
10	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA	1'39.675	10	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA	31	23.912
11	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1'39.676	11	36	坪井翔	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	31	25.770
12	19	T. プルシェール	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'39.713	12	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA	31	30.377
13	38	阪□晴南	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	1'39.990	13	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA	31	33.224
14	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA	1'40.012	14	12	三宅淳詞	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA	31	45.170
15	50	木村偉織	San-Ei Gen with B-Max SF23	HONDA	1'40.118	15	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	31	52.160
16	37	笹原右京	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA	1'40.387	16	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO · INGING SF23	TOYOTA	31	53.621
17	15	岩佐歩夢	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA	1'40.680	17	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA	31	1'09.374
18	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA	1'41.104	18	19	T. プルシェール	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	31	1'18.873
19	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1'41.348	19	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA	28	3Laps
20	39	大湯都史樹	VERTEX CERUMO-INGING SF23	TOYOTA	1'41.472	-	20	国本雄資	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA	1	DNF
21	53	Juju	TGM Grand Prix SF23	HONDA	1'41.674	-	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA	1	DNF



ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています





























